










土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 府中松永線単県道路改良事業に伴う業務委託（2工区）

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 河川 構造物基礎

ボーリング名 No. 1	調査位置 広島県府中市栗柄町	北 緯 34° 33' 19.1510"
発注機関 広島県東部建設事務所	調査期間 令和元年 5月28日～ 令和元年 5月29日	東 経 133° 14' 35.4440"
調査業者名	主任技師	現 場 代 理 人
孔 口 標 高 TP 25.29m	角 度 	方 向 
地盤材料の工学的分類	地盤勾配 	使用機種 東邦地下工機D-1型
総削孔長 12.00m	コ ン ト ロール	ア ー ク
	エンジン ヤンマーディーゼルNFD-12	ポン プ 東邦地下工機BG-3C
		ボーリ ング 責 任 者

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 度 調 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内試験	削 孔 月 日		
										深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 番 号				採 取 方 法	
1				礫混り砂	淡褐灰 rd2			礫はφ2~40mmである。 細~粗砂の盛土である。 GL-1.80~2.00m間に、黒灰色の粘土を挟む。 GL-2.00mから細砂と粗砂との互層状である。 GL-3.00m付近は比較的礫が多い。	5/28 3.35	8	1.15	3	3	2	8	1.15	P-1	○	土粒子の密度・含水比・粒度・液性・塑性	5/28
2										4	2.45	1	1	2	4	2.15	P-2	○		
3	22.28	3.00								17	3.15	3	4	10	17	3.15	P-3	○		
4				砂礫	淡褐灰		礫はφ2~50mmである。 砂は細~粗砂でマトリックス部分は細かい。		21	3.45	7	7	7	21	3.45	P-4	○			
5	20.04	5.25							8	4.15	7	7	7	21	4.45	P-5	○			
6	18.94	6.35		砂質粘土・粘土質砂互層	暗灰 rd2		微~細砂で有機物を含む。 20~30cm程度の互層状である。		8	5.15	4	2	2	8	5.15	P-6	○			
7	18.48	6.80							8	5.45	1	2	5	8	5.45	P-6-2	○			
8				砂	暗灰		細砂である。		8	6.15	1	2	5	8	6.15	P-6-1	○			
9									49	6.45	15	16	18	49	6.45	P-7	○			
10									50GL	7.15	28	22	50	200	7.45	P-8	○			
11				砂礫	?		礫はφ2~70mmである。 砂は細~粗砂である。 GL-8.00m付近は、比較的礫が多い。		50GL	8.05	20	30	50	180	8.05	P-9	○			
12	13.28	12.00							50GL	9.23	60	60	180	9.23	P-10	○				
13				淡褐灰			GL-10.00m付近は、所々淡褐灰色の部分が混じる。 GL-12.00m付近は、比較的礫が減少する。		50GL	10.05	20	13	17	50	10.05	P-11	○			
14									50GL	10.33	20	17	80	280	10.33	P-12	○			
15									50GL	11.00	50	50	100	11.00						
16									50GL	11.10				100						
17									44	12.15	12	15	17	44	12.15	P-12	○			
										44	12.45			300	12.45					